



本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>

SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

<SSH生徒研究発表会に行ってきました！>

8月8日(水)9日(木)に兵庫県の神戸国際会議場で行われた「SSH生徒研究発表会」に行ってきました。

1日目は開会式の後、数学者でTVや雑誌などで有名な秋山仁先生(東京理科大学特任副学長)の基調講演が行われました。題名は「You can be a scientist from today」というものですが、講演内容は非常に高度なものでした。N個の頂点を持つ凸多面体の展開図を F_1 、 F_2 としたときに、 F_1 をN個の断片に切り分け、並びかえると F_2 になるというものでした。これを多面体変身定理といいます。実際にモデルを切り分けて見せてくれたので高校生にとって、わかりやすかったのではないかと思います。

その後ポスター発表が行われました。全国の高校から208校の参加があり、それぞれ数学、物理、化学、生物、地学、情報、農業、工学などのブースにわかれて発表します。兵庫県内や畿内からも多くの高校生が訪れ、発表を熱心に聞いていたのが印象的でした。本校から参加した3人も他校の生徒に負けず質問をしていました。本年度実施している質問力向上を意識した授業の成果でしょうか。

発表は2日間にわたりましたが、閉会式で示された講評は次のとおりです。

- 英文で **Abstract** を書くこと
- 高校生らしい発想と題材が多かった
- もう少し聞き手側の質問力の向上が欲しい
- 先行研究との違い
- 聞き手側とのコミュニケーション力の向上

本校からは、今発表会が最後になるかもしれませんが、充実した2日間を過ごすことができました。

(本校のブース→)

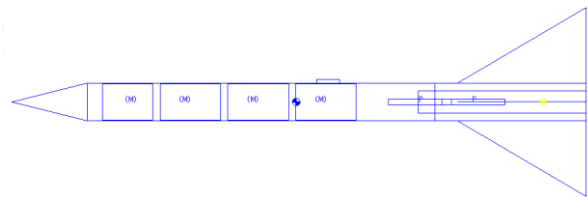


<ロケット甲子園2018に出場(科学部)>

2018年8月20日(月)に能代市で開始されたロケット甲子園2018に科学部ロケット班が出場しました。主なレギュレーション(ロケット本体に関するルール等)は下表の通りです。

機体総重量	650g以下
ボディー長	650mm以上
ボディー直径	50mm
ペイロード	生卵3個を搭載
滞空時間	43~46秒(1回目)
指定高度	856フィート (261m、1回目)

以下に、ロケット班が製作したモデルロケットの図面を示しますが、図面には見えない、新たな取り組みに多く挑戦しました(ボディーにアルミ管を用いる。新たなパラシュート素材用いる。新たな分離方法に挑戦する等)。



(制作したモデルロケット↑)

当日は天候に恵まれたことから、ロケット班のメンバーもシミュレーションソフトの予測通りの飛行をすると期待して臨みました。しかし、結果は1回目の試技による機体が回収できず、2回目の試技に臨むことができませんでした。

この悔しさをモデルロケット全国大会で技術を磨いて、来年のロケット甲子園では安定した飛行と優勝を目指してもらいたいと思います。



<SSH担当職員の紹介>

渡部知(わたなべさとる)

- 担当教科: 理科(物理)
- 部活動: ソフトテニス



【担当者からひとこと!】

SSHが最後の年になるのかな・・・。

